2012年12月6日

各　　位

会 社 名　株式会社やまびこ
代表者名　代表取締役社長執行役員　永尾　慶昭
（コード　６２５０　東証第一部）
問合せ先　総務部長　西　　正信
（ＴＥＬ　０４２８－３２－６１１１）

『中期経営計画２０１４』の進捗に関するお知らせ

当社が2011年８月11日に公表した『中期経営計画２０１４』の進捗状況についてお知らせいたします。

１．進捗状況について

『中期経営計画２０１４』（以下「本計画」）では、小型屋外作業機械（OPE）分野でグローバルメーカーとして確固たる地位を確立し、農業用管理機械分野および一般産業用機械分野の事業拡大を図るという中期経営方針の下、５つの重点課題を掲げ、計画達成に向けて取り組んでおります。

本計画の進捗につきましては、超円高の定着や世界経済の減速、また、震災復興需要の動向など、本計画の公表以降、当社を取り巻く事業環境は大きく変化しておりますが、初年度において計画以上の成果を得るなど、ここまでの状況はおおむね予定通り進行しております。

今後におきましては、為替の行方や新興国市場の成長鈍化などによる世界景気の更なる下振れ懸念など事業環境の先行きは不透明なため、それらが与える業績への影響を予測しづらい状況にありますが、当社グループは環境の変化に着実に対応し、当初策定した各重点施策に対する取り組みをより加速、強化することで、最終年度の計画達成に向けて引き続き取り組んでまいります。

なお、最終年度の計画値に変更はありません。

２．本計画値について

（億円）

	2012年３月期			2013年３月期※			2014年３月期
	当初計画	実　績	計画対比（%）	当初計画	修正計画	計画対比（%）	当初計画（変更なし）
売　上　高	850	869	＋2.2	870	890	＋2.3	920
営業利益	23	28	＋21.7	24	19	▲20.8	35
当期純利益	14	19	＋35.7	16	10	▲37.5	20

＜前提となる通期の輸出為替レート＞　（円）

U　S　D	80	79	－	80	80	－	80
E　U　R	115	111	－	110	100	－	110

※　2013年３月期の修正計画は2012年11月９日公表の業績予想と同様です。

（注）本計画は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化によっては、実際の業績が変動することがあります。

以　上

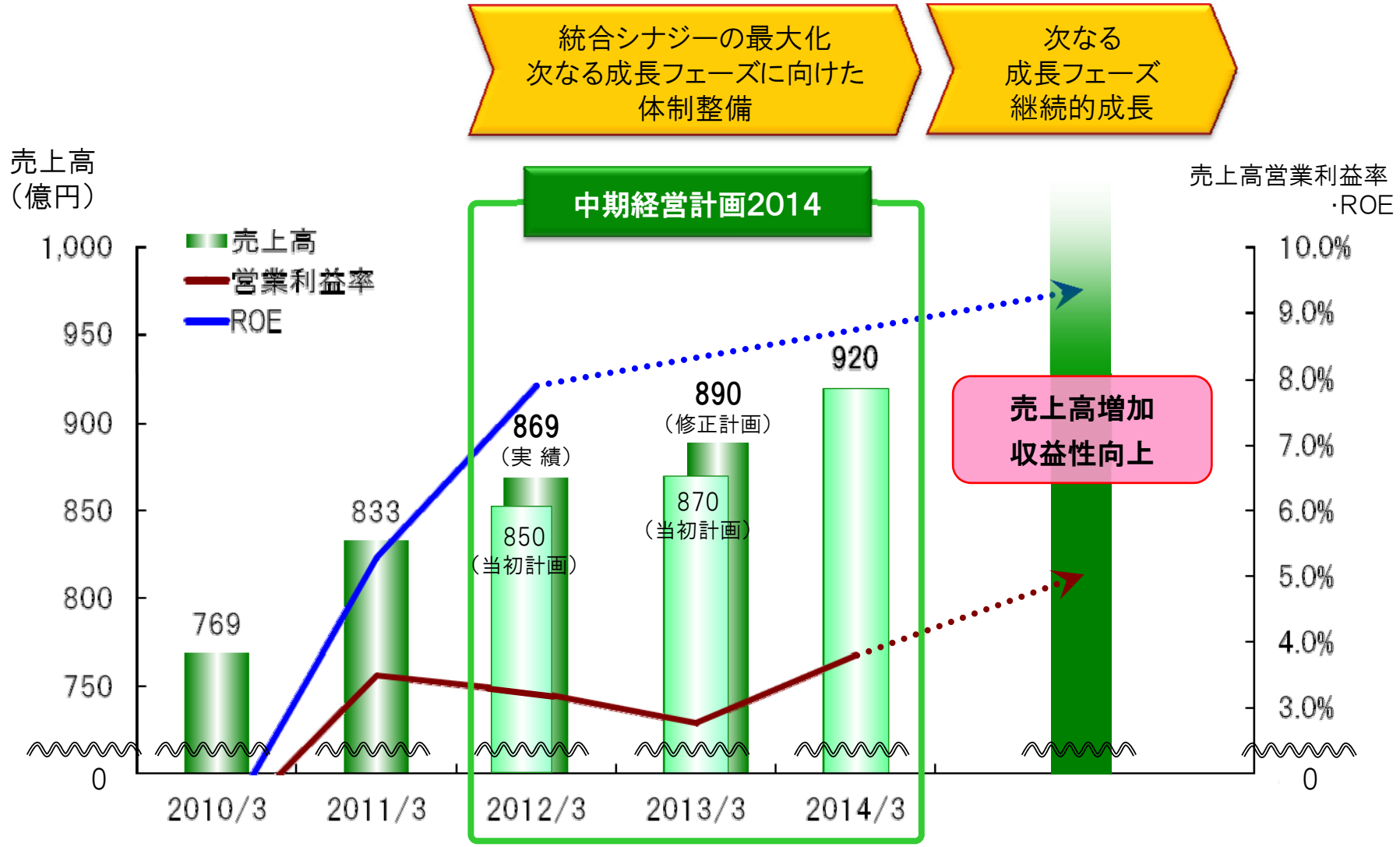
中期経営計画2014 進捗報告

2012 年 12 月 6 日

株式会社やまびこ

© Copyright YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.

中期経営計画2014の位置づけ（再確認）



© Copyright YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.

経営環境認識（再確認）

経 営 環 境

1. 為替の動向は円高基調の長期化（想定レート　1ドル＝80円　1ユーロ＝110円）
2. 新興国の成長による世界経済の拡大
3. 環境と安全に関する意識変化や規制強化

事 業 環 境

小型屋外作業機械（OPE）分野

国内市場を含む先進国の市場規模は安定的に成長
安全性や排出ガスに関する規制強化
新興国は経済成長に伴う生活水準・住環境意識の向上により需要の増加

農業用管理機械分野

国内市場：市場規模は安定的に推移
海外市場：穀物市場拡大に連動し機械市場も拡大傾向

一般産業用機械分野

国内市場：震災復興需要で市場は拡大しその後も高水準で推移
海外市場：新興国を中心に市場拡大傾向

© Copyright YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.

中期経営計画2014の実現に向けて

中期経営計画2014策定以降の『経営環境・事業環境の変化』と『当社への影響』

経営環境・事業環境の変化	当社への影響
● 超円高の定着 ⇒ 1ドル＝80円／1ユーロ＝100円	● 輸出の収益力低下 ● 欧州競合他社製品との価格競争力が低下
● 世界経済の減速 ⇒ 欧州景気低迷の長期化、新興国の成長率鈍化	● 欧州の需要減退（縮小） ● 新興国市場における競争激化
● 東日本大震災の復興需要動向 ⇒ 増加傾向だが本格的には至らない	● 国内の需要予測が困難

『事業環境・経営環境の変化』に対応

© Copyright YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.

中期経営計画2014の実現に向けて

『事業環境・経営環境の変化』への当社対応

重点施策の加速・推進　＆　次期フェーズに向けた体制整備への取組強化

- 積極的な販路開拓（売上拡大）
  【具体策】⇒ 新規市場開拓・OEMの拡大など
- 製品開発力の強化（競争力のある製品ラインナップの構築）
- 生産体制の再構築（為替変動リスクの軽減・製造コスト低減）
  【具体策】⇒ 海外生産移管促進 ・ 海外／現地調達拡大 ・ 生産再編 など
- 新基幹システムの導入（業務効率向上）

当初方針を継続し、各施策をスピード感をもって着実に推進
国際競争力 および 収益性 の向上を目指す

© Copyright YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.

重点施策の取り組み状況 ①

海外生産移管



日本
主要製品

2012年
～2013年3月期

米国（Echo inc.）・ 中国（愛可機械）
24万台（予定）

海外生産台数比率（完成品ベース）：2011年3月期 65% ➡ 2013年3月期 73%（予定）

追加施策

日本



エンジン
ブロック

2013年3月期

米国（Echo inc.）・ 中国（愛可機械）
30万個（予定）

原価低減

海外調達化

・海外生産移管機種を中心に金型やエンジン主要部品の海外調達化拡大
・外貨決済化促進





2014年3月期 ➡ 2011年3月期比調達額 約3倍 を目途に拡大

© Copyright YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.

重点施策の取り組み状況 ②

空洞化対策

海外生産移管

内製化促進
（投資：7億円）

- 板金塗装（工場新設）
- 主要部品内作化（ライン新設）など

雇用維持
原価低減
品質向上

エンジンプラットフォーム統合

中長期における「グローバル」視点でのエンジンラインナップの企画・立案

65
プラットフォーム数
（2012年現在）

2019年目標めどに統合

31
（現在の半数程度）
プラットフォーム数

新製品開発の強化 ／ 原価・価格低下 ／ 市場競争力強化
（開発資源の有効活用）

© Copyright YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.

【小型屋外作業機械分野（OPE）】施策

主力市場　（日本、北米および西欧）

基本コンセプト：『製品の品質・性能』および『市場競争力』の向上によりシェア拡大

	これまでの主な施策	中期経営計画2014～将来に向けた施策
日本	● 輸入品などによる価格競争激化に対する対策 ● 排ガス規制対応の要請により対応機の投入 ● 緑化関連業界への深耕 ● 販売体制をブランド別からエリア制に変更	● 価格競争力のある排ガス対応かつ軽量・低振動などの特徴を有する新製品を投入しシェア拡大 ● OEMの推進 ● 販路の拡充 ⇒ホームセンター・建機レンタル・機械／工具ルートでの需要獲得
海外	● 複数ブランド取扱店舗の増加 ● 部品・アクセサリなどの拡販推進 ● M&Aの実施 ⇒刈払機用部品の製造・販売会社の買収	● 製品ラインナップ（OPP）の拡充 ● M&Aによる事業拡大 ● マーケティング ・ サービス機能の強化 ● 部品・アクセサリなどの拡販継続
共通	● 製品プラットフォームの統合を推進 ⇒グローバルエンジンの開発開始 ● 環境・安全規制に対応する製品開発 ⇒REACH・燃料透過規制対応	●左記事項の推進

北米・日本 ： 順調に推移しておりシェア拡大に向けて施策を継続実施
西　　欧 ： 市場低迷も製品力・サービス力向上の施策を強化

© Copyright YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.

【小型屋外作業機械分野（OPE）】施策

成長市場　（ロシア・東欧・アジア・中南米）

基本コンセプト ： 販売・サービスネットワークの構築・充実による売上高拡大

	これまでの主な施策	中期経営計画2014～将来に向けた施策
	● 部品・アクセサリなどの拡販推進 ● 高出力・高耐久製品の開発 ● 既存代理店の見直し ⇒チェコ・スロバキア・デンマーク・オーストリアなど ● 新市場開拓（ウクライナ・インド・タイ・インドネシア） ● 代理店のサービス力アップ	● 市場に適した価格競争力のある製品投入 ● 新市場開拓の継続（ウガンダ・カメルーン・モザンビークなどアフリカ諸国） ● 代理店のサービス力アップの継続推進
共通	● 製品プラットフォームの統合を推進 ⇒グローバルエンジンの開発開始 ● 環境・安全規制に対応する製品開発 ⇒REACH・燃料透過規制対応	● 左記事項の推進

既　存 ： 販売・サービスネットワークの構築順調に推移　さらなる拡大を目指す
新　規 ： 着実に有望市場を開拓中

© Copyright YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.

【農業用管理機械分野】施策

基本コンセプト　：　NO. 1 シェア奪取・確立
目　標　：　主要製品シェア 5% アップ

	これまでの主な施策	中期経営計画2014～将来に向けた施策
日　本	● 提案型営業推進 ● 高性能新製品の投入	● ニーズ掘り起こしを強化
海　外	● M&Aの実施 ⇒灌漑設備敷設会社の買収	● 売上拡大 （Crary Agricultural Solutions）

国　内　：　よりきめ細かい営業を展開し5%シェア向上を目指す
海　外　：　穀物価格高騰を背景とした需要拡大に対応して売上高拡大を図る

© Copyright YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.

【一般産業用機械分野】施策

基本コンセプト　：　安定した経営基盤・収益体質の再構築
目　標　：　2011年3月期比売上高40%増

	これまでの主な施策	中期経営計画2014～将来に向けた施策
日　本	● BCP需要の取り込み ● 高機能・環境対応などの新製品投入 ● 農林分野への拡販推進 ● 販売子会社の合併による体制整備	● 潜在需要の掘り起こしの継続的実施 ● 高機能および環境対応・省エネなどの新製品投入、商品シリーズの充実化 ● 新製品の全国説明会の継続実施
海　外	● 海外ニーズ調査の実施 ● 仕向け先仕様の製品開発	● 新市場開拓強化（ロシア・アジア・中南米など）

復興需要などにより達成した売上高の維持・拡大

© Copyright YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.

経営数値計画

（億円）

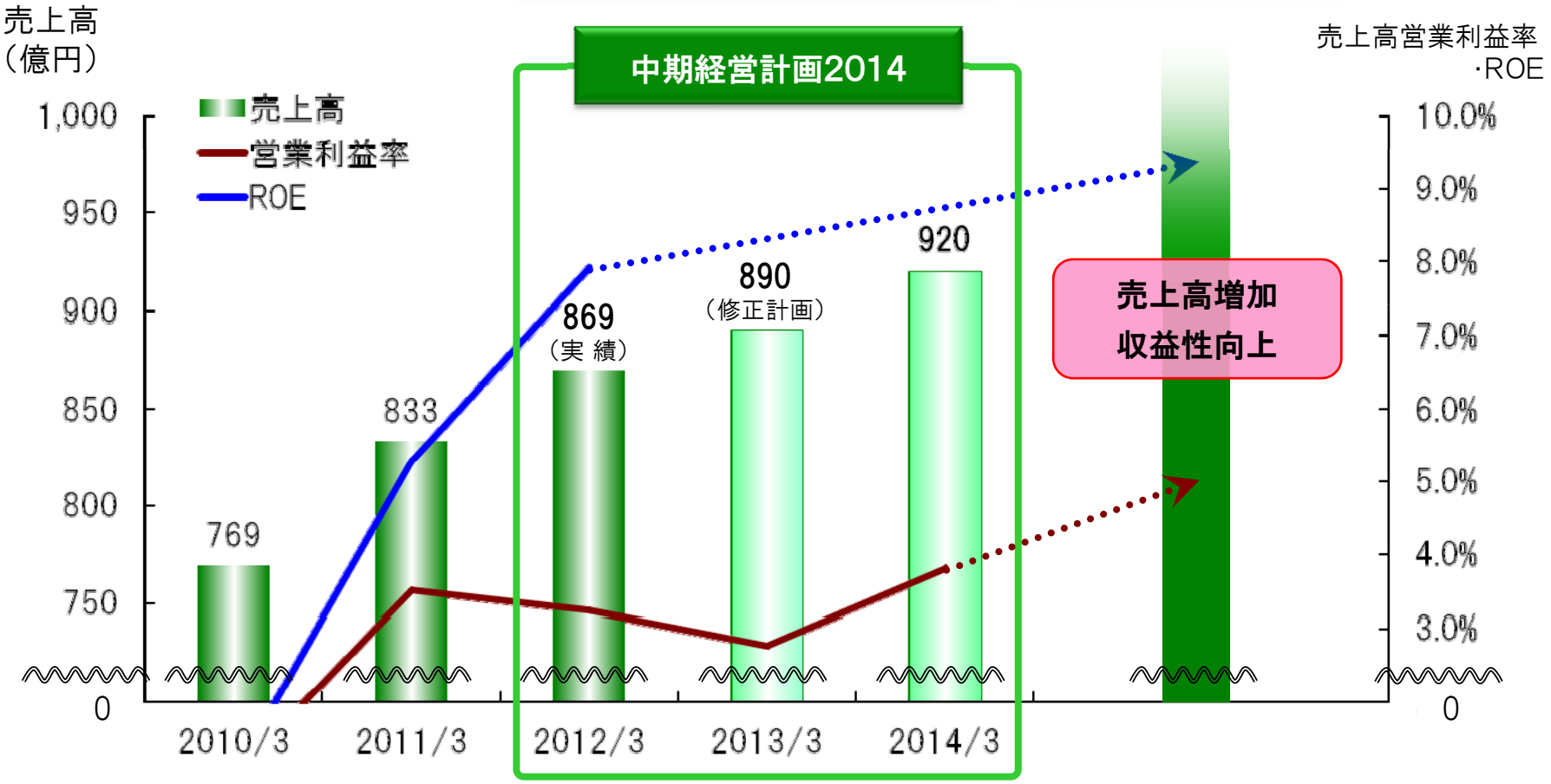
	2012年3月期			2013年3月期			2014年3月期
	当初計画	実　績	計画対比	当初計画	修正計画	計画対比	計画 （当初計画から変更なし）
売上高	850	869	+ 2.2 %	870	890	+ 2.3 %	920
営業利益	23	28	+ 21.7 %	24	19	▲20.8 %	35
当期純利益	14	19	+ 35.7 %	16	10	▲37.5 %	20
ROE		7.9 %					目標 8 %
為替前提 （上　段：1ドル 下　段：1ユーロ）	80 115	79 111	—	80 110	80 100	—	80 110

© Copyright YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.

中期経営計画2014（修正後）

統合シナジーの最大化
次なる成長フェーズに向けた
体制整備

次なる
成長フェーズ
継続的成長



中期経営計画2014を確実に達成し、さらなる成長を目指してまいります

© Copyright YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではございません。

（注）本資料中の記載金額等は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

【お問合わせ先】

株式会社やまびこ
総務部株式IR課　安田・田月

〒198-8760　東京都青梅市末広町1-7-2
TEL :0428-32-6111　FAX: 0428-32-6143
e-mail:ir@yamabiko-corp.co.jp

© Copyright YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.